

臨床研究・調査の概要

研究課題名	Open wedge 高位脛骨骨切り術(OWHTO)における距骨下関節の変化と膝関節面傾斜へ与える影響
研究の概要	<p>【研究の目的・意義】</p> <p>Open wedge 高位脛骨骨切り術(OWHTO)による足関節面傾斜角(Ankle joint line obliquity ; AJLO)の変化についての報告は散見されるが、距骨下関節の変化についての報告はない。本研究の目的は OWHTO における術前後の距骨下関節の変化について検討すること。</p> <p>本研究の成果は、術後の患者教育、病状説明や良好な術後成績につなげることができる。</p> <p>【研究対象者】</p> <p>2017年9月から2019年8月にOWHTOを施行し、術前と術後1年に距骨下関節撮影(Cobey 変法)を施行した患者</p> <p>【研究の方法】</p> <p>研究期間 : 承認日~2021年7月31日</p> <p>2017年9月から2019年8月にOWHTOを施行し、術前と術後1年に距骨下関節撮影(Cobey 変法)を施行した53例55膝に対し、WBLR, MPTA, 膝関節面傾斜角(Knee joint line obliquity ; KJLO), AJLO, 脛踵角(Tibio-calcaneal angle ; TB-C 角)を術前と術後1年で計測し、術前後の変化と各々の変化量(Δ)を評価した。また、ΔTB-C 角とΔWBLR, ΔMPTA, ΔKJLO, ΔAJLO の相関関係を調査した。</p> <p>本研究は、通常診療の範囲内で得られたデータを用いて実施する観察研究であるため、研究参加による特別な被験者の不利益はない。</p>
研究資料の入手・閲覧	<p>研究資料については、研究対象者または当院が認める親族等の方からのご要望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で提供いたします。</p> <p>研究資料の入手・閲覧を希望される方は、次へご連絡ください 富山市民病院 診療科:整形外科 役職:医師 氏名:金山智之 TEL 076-422-1112(代表) FAX 076-422-1371 e-mail jimukyoku@tch.toyama.toyama.jp</p>
個人情報の開示に係る手続	富山市民病院個人情報保護条例に規定する手続きに従い、適切に対応いたします。
相談等への対応	研究対象者からの除外を希望される場合、その他当該研究に関する相談等については、関係資料の入手・閲覧と同じ連絡先にご連絡ください。